

# 産業振興施設「サンドーム福井」(1/2)

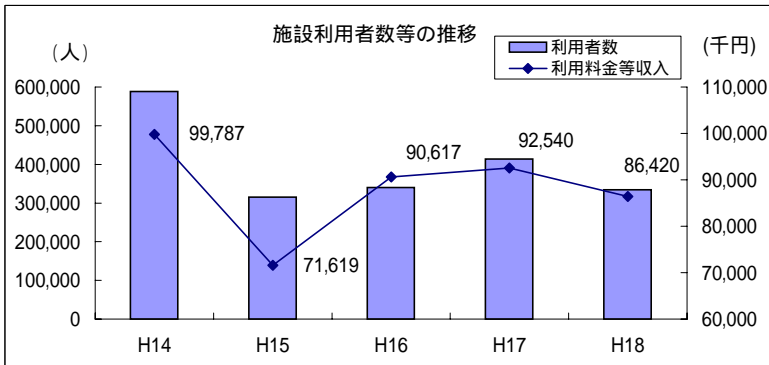


～サンドーム福井は「県民の方に親しまれ、利用される施設」を目指します。～

所在地	越前市瓜生町51-11		
設置年月日	平成7年7月29日		
施設の種類	貸館・貸室	施設管理主体	指定管理者 (財)福井県産業会館
設置の目的	産業の振興および地域の活性化に寄与する		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造・鉄骨造・地上3階、地下1階、建築面積16,019㎡、延べ床面積27,917㎡、イベントホール(展示面積1階約5,100㎡、2階約2,900㎡、天井高最大40m、電動可動席6,000席)、小ホール、会議室7部屋		
職員数	指定管理者職員(9人)		

## 利用状況等

	H14	H15	H16	H17	H18
利用者数(人)	588,600	314,950	340,166	413,805	334,000
イベントホール利用率(%)	49.2	35.9	46.6	40.6	37.9



## 利用者負担(利用料金)等

入館料	刈刈→刈全日(土日祝)	1,134,000円
	刈刈→刈全日(平日)	945,000円

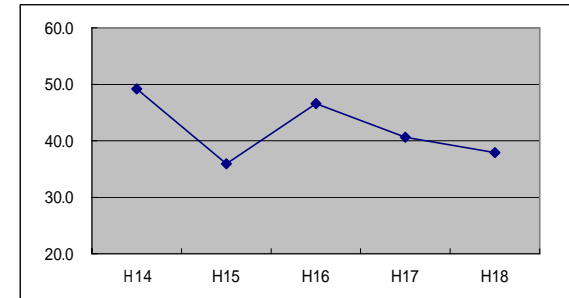
## イベントホール



## 利用の促進

民間事業者が行う各種展示会や集会、イベント、官公庁など公共団体が行う各種大会やイベントに対して、県内外を問わず幅広く企画提案型の営業を展開し、利用促進に取り組みました。

## イベントホールの利用率



## ギャラリーの無料貸出

県民の方に親しまれ、利用していただく施設となるための取組みとして、管理会議棟ギャラリーの無料貸出を開始しました。

対象：保育園、幼稚園、小中学校、高校、各種学校、各種教室等

内容：学校や各種教室等の作品展示・発表の場として、その作品展示に必要な場所・備品などを無料で提供します。



## 18年度の特徴について

事業実績	平成18年4月から、指定管理者に(財)福井県産業会館を指定し、新たな取組みを行っています。 (委託期間 21年3月までの3年間、指定管理料総額 166,645千円)
	・広報誌「SANSAN」(年2回)や「催事案内」(毎月1回)の発行、メールマガジンの配信(毎月1回)など広報活動の強化に取り組みました。(1,916千円) ・イベントホールの空き状況や利用申込み申請書のダウンロードを可能にしたホームページを新設するなど、利用者の利便性向上に努めました。 ・県民の方に親しまれ、利用していただく施設となるための取組みとして、休憩スペースの新設を行うとともに、各種作品発表の場として管理会議棟ギャラリーの無料貸出を開始しました。  【全体としての利用状況等】 丹南産業フェア、音楽コンサート、自動車展示会、スポーツ大会など、合計40件のイベントが開催されました。

利用状況の推移	平成15年度は、前年度と比べ、越前・若狭の産業フェアなどの集客力が特に大きい巨大イベントがなかったため、利用者数は314千人となりました。  平成17年度は、第44回NHK杯体操競技鯖江大会、2005少林寺拳法国際大会、第20回国民文化祭・ふくい2005等の全国的なイベントが開催され、利用者数は413千人となりました。  平成18年度は、全国規模の大型イベントが少なかったこともあり、利用者数は334千人となりました。平成18年度の利用者数は、開館当初のピーク時(平成8年度 720千人)に比べ、約46%となっています。
---------	---

# 産業振興施設「サンドーム福井」(2/2)

行政コスト計算書(平成18年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	0	0.0%	0.0%
	退職給与引当金繰入	0	0.0%	-
	計	0	0.0%	0.0%
物にかかるコスト	物件費	72,121	10.0%	35.4%
	維持補修費	0	0.0%	0.0%
	減価償却費	650,274	90.0%	100.0%
	計	722,395	100.0%	83.0%
その他	公債費(利子)	0	0.0%	0.0%
	その他	0	0.0%	0.0%
	計	0	0.0%	0.0%
合計		722,395	100.0%	82.7%
収入	利用料等収入	3,813	0.5%	3.0%
	その他収入	0	0.0%	0.0%
	一般財源	718,582	99.5%	97.5%

バランスシート(平成19年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	11,706,212	94.7%	固定負債	0	0.0%
うち土地	3,231,956				
うち建物	8,331,521				
投資等	0	-	流動負債	0	0.0%
流動資産	1,131	86.7%	正味資産	11,707,343	94.7%
計	11,707,343	94.7%	計	11,707,343	94.7%

主な指標 (単位: %、円/人)

	H18	H17	前年比
県民1人当たり有形固定資産額	14,303	15,049	95.0%
県民1人当たり将来負担額	0	0	-
世代間負担率	100.0	100.0	100.0%

バランスシート、行政コスト計算書の特色	<p>平成18年4月から指定管理者制度を導入した結果、施設の利用料金等が指定管理者の収入となり、その収入分を差し引いて委託するため、物件費と利用料金等収入が前年比35.4%、3.0%と大幅に減少しています。 一般財源ベースでは、前年比2.5%の減少となり、県民1人あたりのコストは、3.3%改善されています。</p> <p>建設時の起債償還が終わっており、職員配置もないことから、将来負担につながる負債がありません。</p> <p>貸館・貸室という施設の性質上、土地・建物を中心とした有形固定資産が資産の大部分を占めており、行政コスト全体の90%に上る減価償却費が県民1人あたりコストが高い水準にある要因です。</p>
施設の目的上、管理運営上、主要な事業	<p>施設の利用促進を図るため、県内外を問わず幅広い営業活動を積極的に実施しています。また、広報誌「SANSAN」(年2回)や「催事案内」(毎月1回)の発行、メールマガジンの配信(毎月1回)など広報活動の強化に取り組んでいます。(約3百万円)</p> <p>産業観光ギャラリーを活用し、県内企業の製品展示、県内産業・観光情報の提供を行っています。(約1百万円)</p> <p>施設の点検・修繕を行うなど、施設の維持管理に努めています。(約54百万円)</p>
今後の課題	<p>利用者数がピーク時の半分に落ち込んでいるため、イベントホールの利用率を高めるなど、施設の効用を最大限に発揮することが必要です。</p>
今後の事業方針 取り組み内容	<p>本県の産業振興および地域の活性化、本県の知名度向上に寄与するため、施設の特徴を活かした展示会・見本市、全国大会などの集会、コンサートおよびスポーツイベントなどの誘致を関係団体および県内他施設などと連携を図りながら積極的に行っていきます。</p> <p>施設、設備の定期的な点検や早めの修繕を行い、大きな故障等の未然防止に努めるとともに、一層のコスト縮減を図ります。</p>

県民1人あたりのコスト負担の状況(円)

